

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 放課後の家 明和(単位②) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 15日 | | 2026年 1月 15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 30 | (回答者数) 30 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 15日 | | 2026年 1月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|----------------------------|
| 1 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。 | 活動の切り替えが苦手な児童にも、事前に見通しを持たせることで安心して過ごせる環境を整えている。 | 個別特性に応じた対応を都度アップグレードしていく。 |
| 2 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。 | 提案内容は会議で取り上げ、実行可能なものはすぐに試すなど、スピード感を持って改善を進めている。 | 改善内容を法人内で共有し、更なる改善につなげていく。 |
| 3 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている | 同意を得た支援計画書を支援経過記録ファイル貼り付け、毎日の支援が計画に沿って進行できる仕組みを実践している | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者評価 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているかに対し「どちらともいえない」というご意見があった | 避難方法などの認識が深まるよう、レクリエーションの一端としても取り入れ、実施しているが保護者に周知されていない | 連絡帳や写真を通じて保護者に説明、周知していく |
| 2 | 保護者評価 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているかに対し「どちらともいえない」というご意見があった | 療育で使用したSST資料等を保護者に渡し、実践出来るよう解説している また必要に応じて面談を行っている | 専任のコーディネーターが保護者との関係性を構築し気軽に相談できる体制をきずいていく |
| 3 | | | |